

評価規準の作成

国語

小学部 1段階〔思考力, 判断力, 表現力等〕
「A 聞くこと・話すこと」を取り上げて

【参考資料】

- ◆「各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨（小学校及び特別支援学校小学部並びに中学校及び特別支援学校中学部）」⇒★

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/nc/_icsFiles/afieldfile/2019/04/09/1415196_4_1_2.pdf

（小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）
平成31年3月29日 別紙4）



- ◆「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料（令和2年4月）」⇒☆

https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf



※「特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料」等からの引用文の一部を
斜体・太字・赤字で強調して示している部分は、山形県教育センターによるものです。

小学部1段階〔思考力, 判断力, 表現力等〕 「A 聞くこと・話すこと」

小学部〔国語〕 内容			
1段階	2段階	3段階	
<p>A 聞くこと・話すこと ア 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすること。 イ 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。 ウ 伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すこと。</p>	<p>A 聞くこと・話すこと ア 身近な人の話に慣れ、簡単な事柄と語句などを結び付けたり、語句などから事柄を思い浮かべたりすること。 イ 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。 ウ 体験したことなどについて、伝えたいことを考えること。 エ 挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりすること。</p>	<p>A 聞くこと・話すこと ア 絵本の読み聞かせなどを通して、出来事など話の大体を聞き取ること。 イ 経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えること。 ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。 エ 挨拶や電話の受け答えなど、決まった言い方を使うこと。 オ 相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。 カ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。</p>	<p>A 聞くこと ア 身近な人から話を聞き、自分から話したり、話の要点を聞き取ること。 イ 話し手や聞き手の立場や感情などについて考えたりすること。 ウ 見聞きしたことや自分の経験などについて話したりすること。 エ 自己経験や感情などについて話したりすること。 オ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。</p>
<p>B 書くこと ア 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。 イ 文字に興味をもち、書こうとすること。</p>	<p>B 書くこと ア 経験したことのうち身近なことについて、写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすること。 イ 自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。</p>	<p>B 書くこと ア 身近で見聞きしたり、経験したりしたことについて書きたいことを見付け、その題材に必要な事柄を集めること。 イ 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。 ウ 見聞きしたり、経験したりしたことについて、簡単な語句や短い文を書くこと。 エ 書いた語句や文を読み、間違いを正すこと。 オ 文などに対して感じたことを伝えること。</p>	<p>B 書くこと ア 見聞きしたことや自分の経験などについて話したりすること。 イ 話し手や聞き手の立場や感情などについて考えたりすること。 ウ 文の構成や表現などについて話したりすること。 エ 自分が書いた文や話の内容について話したりすること。 オ 文章の構成や表現などについて話したりすること。</p>

思考力・判断力・表現力等

小学部1段階〔思考力, 判断力, 表現力等〕 「A 聞くこと・話すこと」

		(I) 読み聞かせに注目し, いろいろな絵本などに興味をもつこと。	(I) 読み聞かせに親しんだり, 文字を拾い読みしたりして, いろいろな絵本や図鑑などに興味をもつこと。	(I) 読み聞かせなどに親しみ, いろいろな絵本や図鑑があることを知ること。
思考力, 判断力, 表現力等 A 聞くこと・話すこと		聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。	聞くこと・話すことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
		ア 教師の話や読み聞かせに応じ, 音声を模倣したり, 表情や身振り, 簡単な話し言葉などで表現したりすること。	ア 身近な人の話に慣れ, 簡単な事柄と語句などを結び付けたり, 語句などから事柄を思い浮かべたりすること。	ア 絵本の読み聞かせなどを通して, 出来事など話の大体を聞き取ること。
		イ 身近な人からの話し掛けに注目したり, 応じて答えたりすること。	イ 簡単な指示や説明を聞き, その指示等に応じた行動をすること。	—
		ウ 伝えたいことを思い浮かべ, 身振りや音声などで表すこと。	ウ 体験したことなどについて, 伝えたいことを考えること。	イ 経験したことを思い浮かべ, 伝えたいことを考えること。
		—	—	ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり, 考えたりすること。

評価規準の作成手順

1 「評価の観点及びその趣旨」(★参照)の確認

※ 各教科等の目標を踏まえて作成されている



2 「段階別の評価の観 points の趣旨」(☆参照)の確認

※ 段階の目標を踏まえて作成されている



3 「内容のまとめりごとの評価規準」の作成

① 各教科における「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認する

② 【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する

評価規準の作成手順 1

～評価の観点及びその趣旨の確認～

国語の目標		評価の観点及びその趣旨	
知識及び技能	日常生活に必要な国語について、その特質を 理解し使うことができるようにする。	知識・技能	日常生活に必要な国語について、その特質を 理解し使っている。
思考力・判断力・表現力等	日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、 思考力や想像力を養う。	思考・判断・表現	「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を身に付け、思い付いたり考えたりしている。
学びに向かう力・人間性等	言葉で伝え合うよさを 感じる とともに、言語感覚を養い、 国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思い付いたり考えたりしながら、言葉で伝え合うよさを感じようとしているとともに、言語感覚を養い、言葉をよりよく使おうとしている。

評価規準の作成手順 2

～「段階別の評価の観点の趣旨」の確認～

1段階の目標		評価の観点及びその趣旨
知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に 触れることができるようにする。	知識・技能 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に 触れたり注意を向けたりしている。
思考力・判断力・表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いを もつことができるようにする。	思考・判断・表現 「聞くこと・話すこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いを もっている。
学びに向かう力・人間性等	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を 使おうとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いをもったりしながら、 言葉で表すことやそのよさを 感じようとしている とともに、言葉を 使おうとしている。

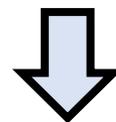
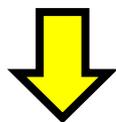
評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

① 「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係の確認

「内容のまとめり」と「評価の観点」との対応

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
ア 言葉の特徴や使い方に関する事項 イ 我が国の言語文化に関する事項	A 聞くこと・話すこと B 書くこと C 読むこと



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

※ 一年間を通して、当該段階に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とする。

「知識・技能」のポイント

- 基本的に、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔知識及び技能〕の指導事項について、その**文末を「～している。」**として、「知識・技能」の評価規準を作成する。なお、育成したい資質・能力に照らして、**指導事項の一部を用いて**評価規準を作成することもある。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

※ 一年間を通して、当該段階に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とする。

「思考・判断・表現」のポイント

- 基本的に、当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項について、その**文末を「～している。」**として、「思考・判断・表現」の評価規準を作成する。なお、育成したい資質・能力に照らして、**指導事項の一部を用いて**評価規準を作成することもある。
- 評価規準の冒頭には、**当該単元で指導する一領域を「(領域名を入れる)において、」と明記**する。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【観点ごとのポイント】

※ 一年間を通して、当該段階に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とする。

「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

- ①知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた**粘り強い取組を行おうとする側面**と，②①の粘り強い取組を行う中で，**自らの学習を調整しようとする側面**の双方を適切に評価できる評価規準を作成する。**文末は「～しようとしている。」とする。「評価の観点及びその趣旨」においては，主として，①に関しては「言葉を通じて積極的に人と関わったり」，②に関しては「思いをもったりしながら」が対応する。**
- ①，②を踏まえ，**当該単元で育成する資質・能力と言語活動に応じて文言**を作成する。

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

②【観点ごとのポイント】を踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成

【内容のまとめりごとの評価規準(例)】

ア 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする活動を通した指導の評価規準の例

内 容		内容のまとめりごとの評価規準	
知識 技能 及び	ア (イ)言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたり すること。	知識・技能	言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたり している。
力 思考力・判断力 表現力等	ア 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したり すること。	思考・判断・表現	「聞くこと・話すこと」において、 教師の話や読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したり している。
力 学びに向かう力・人間性等	※ 1段階の目標参考 ウ 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を 使おうとする態度を養う。	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人に関わったり、学習の見通しをもって思いをもったりしながら、言葉を使おうとしている。 ➡次のスライド参照

評価規準の作成手順 3

～「内容のまとめりごとの評価規準」の作成～

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準について

当該単元で育成する資質・能力と言語活動に応じて作成する。具体的には、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の双方を適切に評価する。

特に、粘り強さを発揮してほしい内容と、自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動を考えて授業を構想し、評価規準を設定する。

以下の①から④の内容を全て含め、単元の目標や学習内容等に応じて、その組合せを工夫する。

- ① 粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ② 自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③ 他の2観点において重点とする内容(特に、粘り強さを発揮してほしい内容)
- ④ 当該単元の具体的な言語活動(自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動)

※〈〉内の言葉は、当該内容の学習状況を例示したものであり、これ以外も想定される。